

「この名札、県産ヒノキで作っているんですよ」と前職の農政環境部時代から使用している名札を見せる笑顔の小川県民局長。この4月から新たに着任した小川局長にこれからの東播磨についてお話を伺いました。

歴史と産業に支えられた街

東播磨県民局では、30年前から変わらず「水と産業」をテーマに掲げています。東播磨は温暖肥沃な播磨平野、清流加古川、全国有数のため池や瀬戸内海・播磨灘の好漁場を擁し、その豊富な水源をもとに営まれる農業や、臨海部では海運の利便性を活かした工業も盛んな地域で、水辺で豊かに暮らせる非常に住みよい地域です。加えて歴史もあり遺跡や文化財なども多く残されており、私も歴史好きなので、局長

歴史に根差した

躍進する東播磨へ

室に置いてある「東播磨の歴史」という本を読んで、少し時間をかけて深く勉強したいと思います。

ところで、東播磨には環境に配慮した最先端技術を持った企業があるのをご存じですか？具体的には、回収ペトボトルを再びペトボトルにリサイクルする企業や、海中で分解されるプラスチックを開発している企業などです。このような高い技術を持つ企業が東播磨にもあることを様々な場でどんどんPRしていきたいですし、地域の皆様方にも知っていただき、環境への意識を高めていただきたいと思います。

ともに躍進する東播磨をつくる

今後の計画として、東播磨南北道路北工区の整備、国道2号の4車線化・対面化等を進めていきます。交通インフラの整備は産業・生活にとって大変重要で、整備により街の価値も高まり、違ったビジネスも生まれるなど地域全体の活性化も期待できます。長期計画ではありますが着実に完成に向けて進めてまいります。

また、東播磨の「食」のブランド化にも力を入れています。加古川パスタ、加古川和牛・・・加古川「発」の最高品質の「食」は他にもたくさんあります。一度食べてみるとその良さは必ずわかっていたいただけるものばかりで、全国の方にも是非知っていただきたい

し、地元の方も地産地消で大地の恵みを楽しんでもらいたいです。兵庫県の特産を販売するECサイト『御食国（みけつくに）ひょうご』も是非一度ご利用ください。

そして、情報基盤の活用です。昨年度、県も支援し地域BWA基地局を8か所から64か所へと大幅に増やしていただきました。すでに加古川市で先行されている防犯・防災対策や、教育の場での活用も計画しており、タブレット授業のほか地域の歴史を学べるコンテンツを作成予定です。

コロナ禍での県民局の取り組み

新型コロナウイルスへの対応は、健康福祉事務所を中心に感染源調査や濃厚接触者の特定、PCR検査の実施など日々取り組んでいます。人手が足りず、総務企画室の防災担当者がデスク整理や情報提供、検体の搬送などを行うなど、県民局総出で対応に当たっています。感染拡大を防ぐには、一人一人の感染防止への心掛けが大切です。皆様のご協力をお願いいたします。

東播磨県民局は、私にとって初めて勤務した現場事務所での仕事の原点でもあります。初心に返って、皆様方のお役に立つべく一日一日丁寧に仕事に取り組み、歴史に根差した躍進する東播磨になるよう尽力いたします。どうぞよろしく願います。



兵庫県東播磨県民局長
おがわ よしひろ
小川 佳宏 さん